

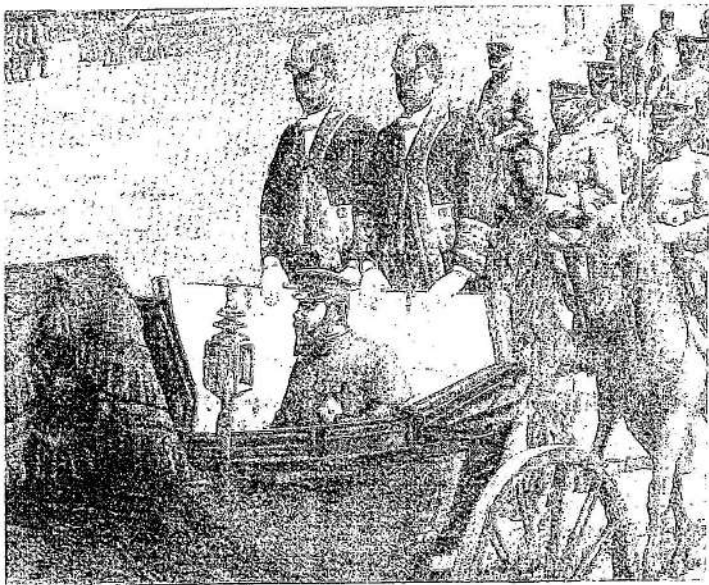
## タウン情報②⑧

### 史蹟明治天皇荻窪御所休所

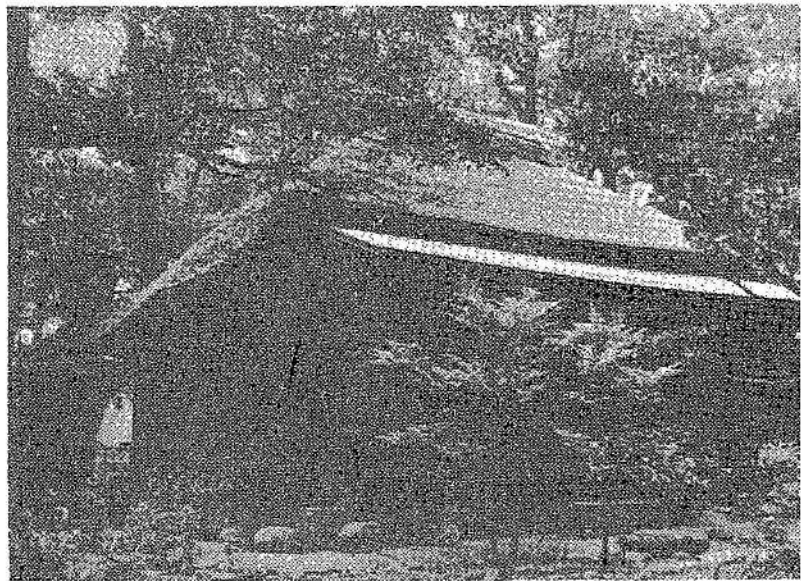
荻窪駅南口から東へ徒歩二分、荻窪四の三〇に、こんもりと木立の繁った藤沢乙安氏邸がある。邸の東側に江戸時代に建てられた平屋建の武家風長屋門があり、その右前に明治天皇荻窪御休止所と刻まれた史蹟標識の石柱が建ててある。

第1回は、近衛師団の演習の御統監の為、二回目は、皇太后同伴で小金井の桜見物の際、小休止された。古くは、徳川十一代将軍家斎が春は雉狩り、秋は鴨狩りに使用された。

森 泰樹著「杉並区史探訪」より抜粋



明治天皇（明治神宮絵画館蔵）



明治天皇御休所

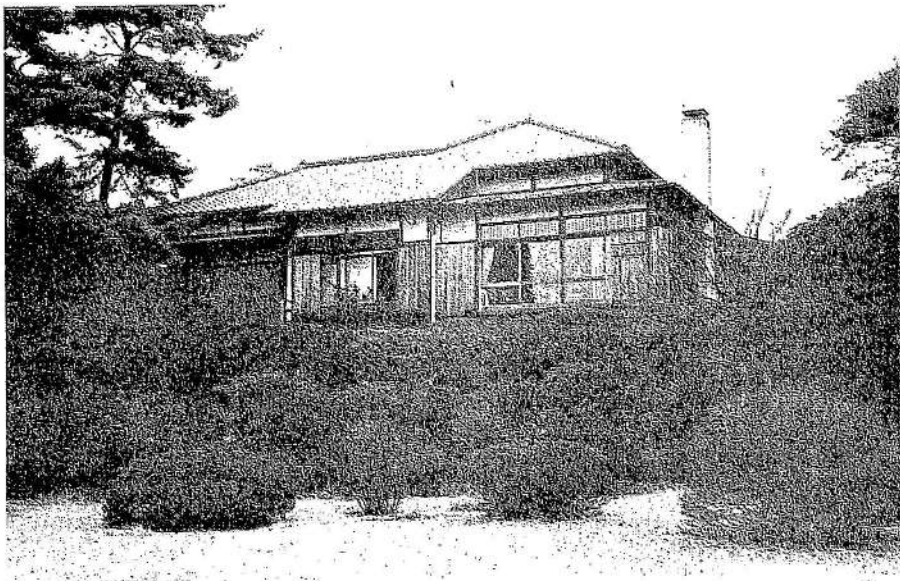
## タウン情報②9

### 近衛公と荻外荘

善福寺川底地を臨む高台の荻窪二の四十三に近衛邸がある。元老西園寺公が荻外荘と名付けられた。

昭和十二年頃から軍部の台頭を押さえる為に新しい政治理念を掲げ、文化人の興望を一身に担い、四十六歳の若さで内閣総理大臣に就任した。しかし、強硬な軍部と軍と密着して死の商人になった財閥を相手に平和への道を開く事は至難事だった。理想と反対の軍事協力に引きずられて行く日々の心労を荻外荘の庭が幾分か慰めた事でしょう。

森 泰樹著 杉並区史探訪より抜粋



荻外荘・荻窪二丁目



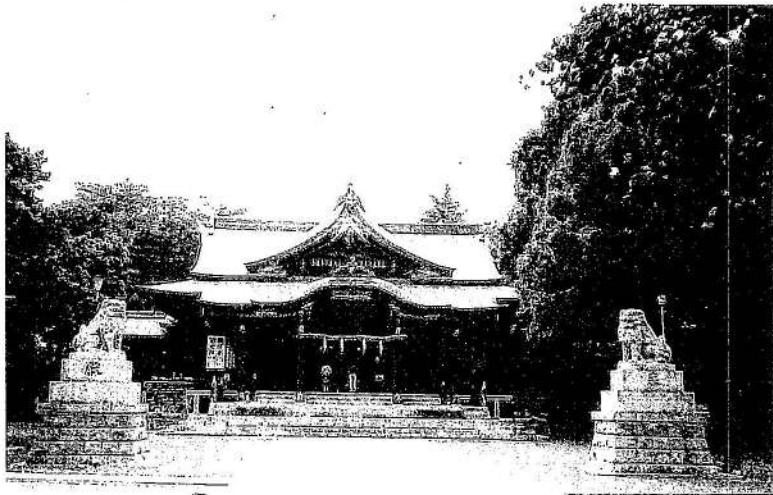
# タウン情報③〇

## 大宮八幡宮

1060年頃、旧和田村の鎮守様で応神天皇、仲哀天皇、神功皇后をお祀りしてある。中世の大宮八幡宮は、多摩の大宮と呼ばれ、「秩父の大宮」「足立の大宮」と共に武蔵国の三大宮の一つだった。立派の由緒があって、社殿が大きく、尚且つ境内地が広いので大宮と呼ばれている。

戦国時代・江戸時代には、幾多の武将が祈願に訪れていた。そして、祈願成就の折に寄進してきた。一時期、上杉謙信が小田原北条氏康を攻めた時、社殿と社宝等が焼失したが、その後徐々に復興してきた。社格は、明治五年に東京府の郷社に指定され、昭和十八年に東京府社に昇格し、昭和四十一年に、神社本庁より旧官国弊社に準じた別表神社に列せられた。

森 泰樹著 杉並風土記より抜粋



拝 殿



参 道